

視覚障害者向け機器展示室 ルミエールサロンのあゆみ ～開設20周年を記念して～

作成：令和3年10月



ルミエールサロンとは①

高知県立盲学校内に設置されている視覚障害者向け機器展示室
【運営：高知県身体障害者連合会 設置：高知県】

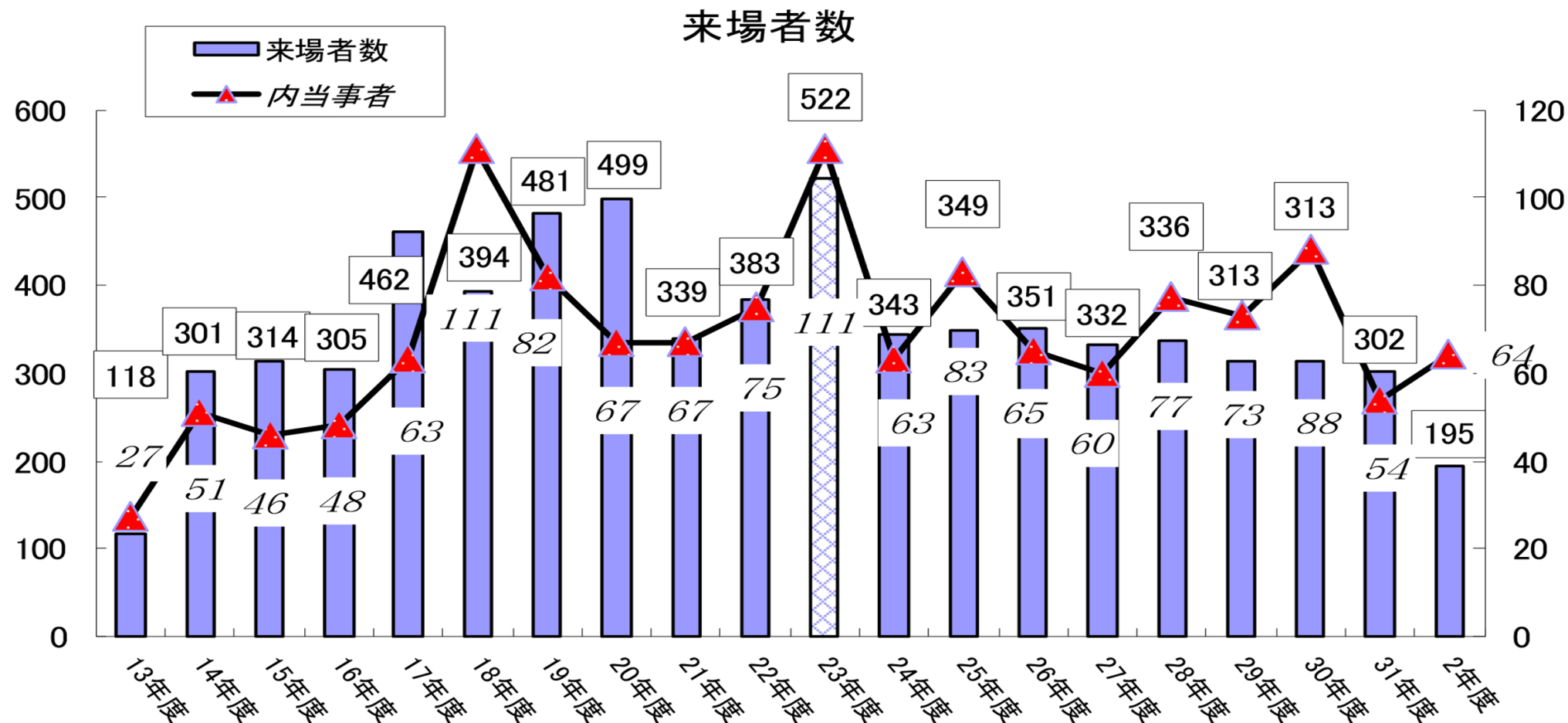
- ・補装具、日常生活用具を含む視覚障害者向けの機器を約500点展示
- ・専門スタッフ（視覚生活訓練指導員）が来室対応（予約制）
- ・巡回相談や福祉祭りなど出張機器展示を実施
- ・毎月第2木曜日14：00～16：30をルミエールサロンの日として、予約不要で見学できる
- ・販売不可（制度の利用や自費購入のお手伝いを実施）

展示品については、県内眼鏡店様や全国のメーカー様にご協力をいただいている機器もたくさんあります。



ルミエールサロンの実績①

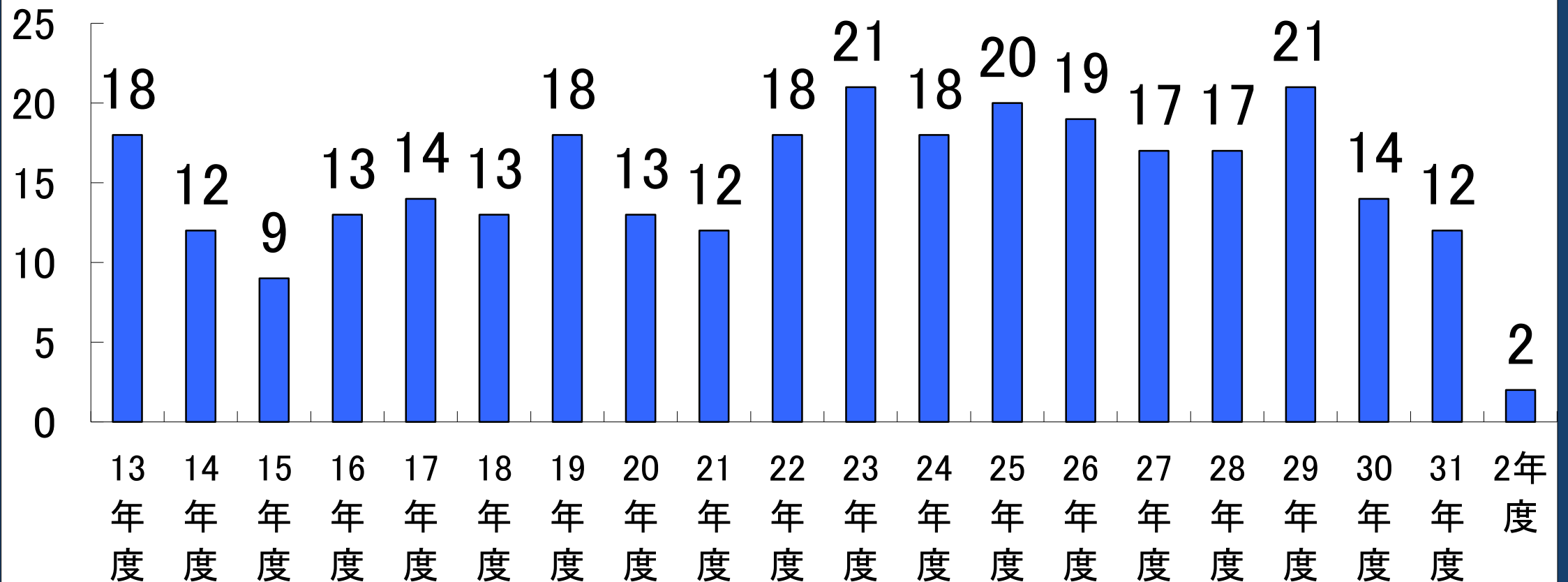
令和二年度末でのべ6868人の来場



ルミエールサロンの実績②

のべ301回の出張機器展示を実施

出張機器展示回数



ルミエールサロンとは②

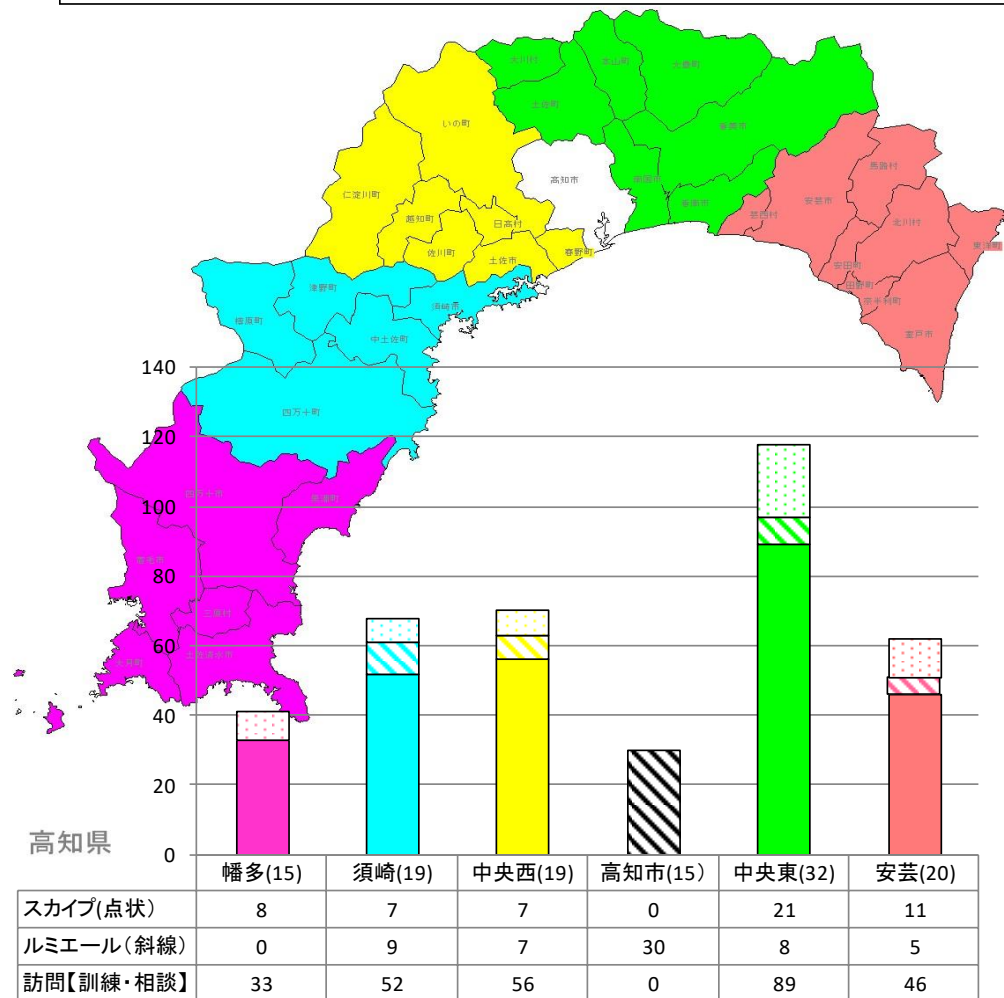
高知県の視覚障害生活相談訓練事業
歩行訓練や日常生活訓練、ICT訓練（パソコンやスマホ）、ルミエールサロンのグッズの紹介や使い方の訓練などを訪問で実施



視覚障害者生活訓練・相談事業

国土地理院承認 平14総複 第149号

令和2年度
高知県視覚障害者生活相談・訓練事業 地域別訪問回数(累計)

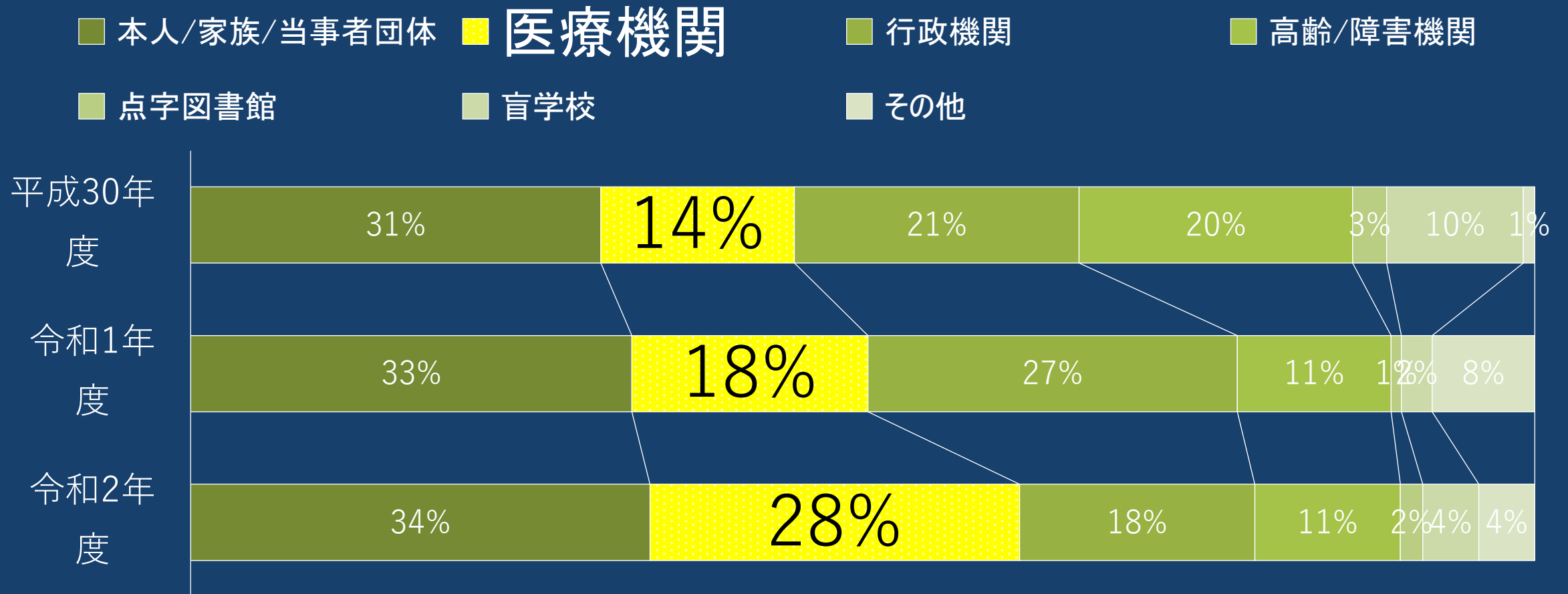


最近3年間の実績

年度	訓練/相談回数	人数
平成30年度	401	160
平成31年度	541	185
令和2年度	389	151

視覚障害者生活訓練・相談事業

相談依頼元の割合（高知県：高知市を除く市町村）



ルミエールサロンの歴史①

年度	主な出来事
2000年	吉野氏が県職員提案事業に「ルミエールプラン」を提案
2001年	・ 6月高知県立盲学校内にルミエールサロンオープン ・ 年間18回の機器展示実施
2003年	・ ルミエールサロンが盲学校2階から1階へ移転
2004年	・ ステップアップ事業ロービジョンエイドの購入と6回の講演会、ワークショップの実施 ・ 来場者1000名達成
2005年	・ 視覚障害生活指導員2名体制
2006年	・ ルミエールサロン隣室に視覚障害生活訓練指導員室を設置

ルミエールサロンの歴史②

2007年	・ 高知会館にて便利グッズの即売会を実施 ・ 来場者2000名達成
2008年	・ 高知県立盲学校にて便利グッズ即売会を実施
2009年	・ 来場者数3000名達成
2010年	・ ポスター、リーフレットを作成
2011年	・ ルミエールサロン10周年記念式典（県立盲学校にて） 来場者4000名達成
2014年	・ 来場者数5000名達成
2015年	・ 第1回展示即売会、体験会（高知会館にて） 高知点字図書館と共催し、毎年開催することとなる

ルミエールサロンの歴史②

2017年	・ 第3回展示即売会、体験会（高知会館にて）台風の為中止 ・ 来場者数6000名
2018年	・ 展示即売会をルミエールフェスタ2018と名称を変え、オーテピアで開催
2019年	・ ルミエールフェスタ2019を開催、スポーツ関係のイベントを開催（クライミング、ヨガ、タンDEM自転車、など） ・ 三菱電機株式会社様より家電製品を寄贈
2020年	・ コロナウイルス感染症の為、ルミエールフェスタ中止
2021年	・ ルミエールサロン20周年開催

ルミエールサロン関係の新聞記事

2001年(平成13年)6月16日(土曜日) 地域 1 ☆☆ (24)

最新機器で視覚障害支援 盲学校に常設展示サロン

高知市



視覚障害者の日常生活の不便さを解消するため、さまざまな機器を常設展示する「ルミエールサロン」が十五日、高知市大膳町の盲学校内にオープン。関係者が出席してテープカットなどのセレモニーを行った。

ルミエールはフランス語で「光」の意味。福祉と教育の連携で視覚障害者のサービスを向上させることを目指す県の職員提案事業「ルミエールプラン」の一環。教室を改装したサロンに、視覚障害者用の機器など約五十点を展示した。

オープニングセレモニーで松岡寿子・県健康福祉部長が「視覚障害者の自立に向け、サロンが光になることを願いたい」とあいさつ。テープカットの後、サロンが公開された。

視覚障害者用の機器などが常設展示されているルミエールサロン(高知市大膳町の盲学校)

部屋の周りを囲むテーブルには、音声案内式の電磁調理器、新聞などの文字を読み上げるパソコンソフトのほか、使い方を工夫することで視覚障害者の生活が便利になる一般的な日常生活用具などを配置。本の文字を拡大する「拡大読書器」など、視力が衰えたお年寄りにも便利な道具もそろえた。訪れた人々は、品々を手にとって使い勝手を確かめていた。

サロンの展示品の一部は今後、郡部でも巡回展示される予定。問い合わせは盲学校(0888・23・8721)、または県障害福祉課(0888・8233・9634)へ。

2003年(H15)10月30日(木) 朝刊

高知新聞 2

視覚障害者に生活訓練を 指導員増員 知事に署名提出

指導員増員 切望する会

「視覚障害者生活訓練指導員増員を切望する会」は二十九日、七千二百八十八人の署名を中間報告として橋本大二郎知事に提出し、早期の指導員増員を要望した。

視覚障害者生活訓練指導員は、視覚障害者がより自立した生活を送れるよう歩行などの訓練をする。県内では高知市が独自に一人を配置。その他の市町村は県から委託を受けた「県身体障害者連合会」の職員が一人を担当しているため、訓練待ちの状況になっている。

同会は署名で、高知市以外を担当する指導員の増員を要望。自身も訓練を受けている水田明子さん(五七)も「吾川郡春野町弘岡上」の森村洋子さん(五九)須崎市中町一丁目が呼び掛け、九月から署名は十月末で締め切り、最終集計する。

この日は関係者十一人が県庁を訪れ、水田さんが橋本知事に署名簿を提出。生活訓練を受けた人たちは「普通の字を読みたい、書きたい」とずっと思ってきた。音声パソコンの訓練を受け、文字でのやりとりができるようになった。「どうして自分だけが見えないのか」と思っていたが、指導員が見えないつらさを分かってくれたので精神面でも支えられた。など訓練の意義を訴え、前向きに検討する」と答えた。

水田さんは「署名の多さに驚いている。多くの人が関心を持ってくれたのが一番の収穫」と話していた。

署名は十月末で締め切り、最終集計する。



橋本知事に署名簿を提出する水田さん(左)(県庁知事室)

他機関との連携

- ①県内当事者団体
 - ・研修講師や機器展示など
- ②高知県立盲学校
 - ・ルミエールサロン、指導員室の設置
 - ・研修、ルミエールサロン見学、研修講師
 - ・在校生、卒業生への情報提供
 - ・月に一度のルミエールサロンの日の開設
 - ・高知家のいっぽ
- ③県内外の視覚障害取り扱い業者、メーカー様
 - ・ルミエールサロンへの機器の貸し出し



他機関との連携

④オーテピア高知 声と点字の図書館

- ・ルミエールフェスタ（展示即売会）の開催
- ・定期広報「すばる」へのルミエールサロンからこんにちは
- ・個別訪問での協働
- ・高知家のいっぽ

⑤県内医療機関

- ・医療機関での出張機器展示会
- ・眼の健康講座での機器展示やフェスタと同日開催
- ・定期型、不定期型で中間型アウトアウトリーチ
- 【定期型：日赤病院、土佐市民病院、国立高知病院】
- いつでも型：現在は、県内各眼科医療機関へ対応
- ・高知家のいっぽ

他機関との連携

⑥その他

- ・市町村障害担当課・包括支援センター、社会福祉協議会、高知ふくし機器展などなど



ルミエールサロンの今後の活動の三本柱

- ①高知県内にお住いの見えにくい方により
よりそい丁寧に相談、訓練対応を行う
- ②より多くの方にルミエールサロンの存在を知っ
ていただくために継続的に啓発活動を行う県内各
※オンライン等を活用する
- ③眼科医療機関含め、他機関との連携を深める
※高知家のいっぽ、高知家ロービジョン勉強会

さいごに

見えない、見えにくいことで困ったときに、いつでも、どこでも受けられる相談場所であり続けます。

そのためには、より多くの方にルミエールサロンのことを知っていただく取り組みを続けます。



ご清聴ありがとうございました。